

東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー

Johann Sebastian Bach

ミサ曲ト短調

Messa in g-Moll BWV235

教会カンタータ第30番

Freue dich, erlöste Schar BWV30

教会カンタータ第80番

Ein feste Burg ist unser Gott BWV80



指揮：水野克彦

独唱：ソプラノ：星川美保子
アルト：谷地歆晶子
テノール：大島 博
バス：白岩 洵

管弦楽：東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー・アンサンブル

オルガン：平野智美

合唱：東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー



星川美保子



谷地歆晶子



大島 博



白岩 洵

2019年1月28日(月) 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

19:00開演(18:30開場) 料金(全席自由) 3,500円

【主催】東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー
<http://www.christmas-academy.com>

■ご予約・お問合せ

E-mail : info-2@christmas-academy.com / ☎ 090-4721-1914 (君島)



水野克彦

Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、だいに十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライブワークとして取り組んでいる。東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー、渋谷混声合唱団、三菱UFJ銀行合唱団、東京アマデウス合唱団等の常任指揮者。2011年より明治学院大学グリークラブの常任指揮者。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。

東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー

当アカデミーは、故池宮英才氏の指揮により1963年から1991年までの29年間に亘りJ.S.Bach「クリスマス・オラトリオ」を演奏してきた「明治学院大学グリークラブ」のOB・OGをコアメンバーとして、1997年6月に「明治学院クリスマス・オラトリオ合唱団」として結成いたしました。その後、10回を超える「クリスマス・オラトリオ」の演奏を行っております。

2003年9月、名称を「東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー」に改称し、大学OB合唱団から脱皮し、広く一般の宗教音楽愛好家の方々にもご参加頂くよう体制を改めました。これまで「クリスマス・オラトリオ」の他J.S.Bach「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「ミサ曲短調」、「ミサ曲長調」、Haydn「天地創造」、G.F. Handel「メサイア」、ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」、モーツァルト「レクイエム」、メンデルスゾーン「エア」など多くの宗教曲を演奏し好評を得ました。

星川美保子

ソプラノ

Mihoko HOSHIKAWA

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。2003年よりドイツ・ライプツヒに留学。Christina Wartenberg氏に師事。留学後の2005年3月に行われた二期会公演『魔笛』パミーナ役への抜擢で一躍脚光を浴び、続く10月『ジュリアス・シーザー』で演じたクレオパトラ役では、確かな歌唱技術と卓越した表現力で聴衆を魅了し、絶賛を博した。コンサートに於いては、透明度の高い声質を生かし、殊に宗教曲を得意としている。藝大在学中、東京藝大バッハ・カンタータ・クラブに所属し、小林道夫氏のもとで研鑽を積み、バッハのカンタータのソロ及び合唱を数多く演奏している。近年声楽の個人指導や合唱団のヴォイストレーナーとしても活動している。二期会会員。

谷地敏晶子

アルト

Shoko YACHIUNE

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。第16回日仏声楽コンクール第1位。2012年度三菱地所賞受賞。第57回藝大メサイア、第28回台東区第九、第349回藝大合唱定期ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」のアルトソロ、第54回藝大定期オペラ「ファルスタッフ」クイックリー夫人を務める。また、J.S.バッハ「クリスマス・オラトリオ」、「口短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルジャーク、デュルフル「レクイエム」、メンデルスゾーン「パウロ」「エリヤ」等においてアルトソリストで出演している。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、故・朝倉蒼生、伊原直子、寺谷千枝子、森品彦の各氏に師事。

岩手大学、岩手県立大学非常勤講師。

大島 博

テノール

Hiroshi OSHIMA

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。渡辺高之助、高 文二、原田茂生、中山悌一の各氏に師事。同大学院在学中の86年、ミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年D.フィッシャー＝ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの受難曲における福音史家の演奏には定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96年からは「ドイツ・リートのためのしみ」と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。2004年からはシューベルトの「冬の旅」演奏会を毎年開催している。近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動し、ドイツ詩の翻訳も手がける。

立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学非常勤講師。ジグアアカデミー東京主宰

白岩 洵

バス

Jun SHIRAIWA

東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業、同大学院修了課程を音楽教育分野にて修了。これまで声楽を大島博、高文二、福島明也、故長町順史、小森輝彦の各氏に師事。大学在学中は芸大バッハカンタータクラブに在籍し、小林道夫氏からバロック音楽の薫陶を受ける。シュトゥットガルトにてディートリヒ・ヘンシェル、ヘルムート・ドイチュら各氏のマスタークラスを修了。

これまでオペラでは、モーツァルトの主要なバス、バリトンのロールを演じる他、ヴェルディ、プッチーニ、ビゼーなどのオペラ作品に出演し、その精緻な役作りで定評がある。宗教曲の分野では、バッハの教会カンタータ諸作品、「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、「大ミサ」などでソリストとして出演する。

日本モーツァルト音楽コンクール入選。友愛ドイツ歌曲コンクール入選、同時に聴衆者賞を受賞。東京二期会会員。日本ドイツリート協会会員。高声会会員。山口大学講師。

合唱団員募集

現在団員募集は行っておりませんが、**2019年2月より募集を再開**いたします。

ご一緒に宗教音楽を歌いませんか？練習の見学を歓迎いたします。

●お問合せ：info-2@christmas-academy.com

練習日：毎週土曜日 18:00~21:00

練習会場：東京山手教会（渋谷）他

団費：月額5,000円 | 入団費1,000円

(その他に演奏会チケット割当などがあります)



渋谷区文化総合センター大和田
渋谷駅西口から徒歩5分